

令和4年度京都府PTA指導者中央研修会を開催

本研修会は、府内のPTA役員が一堂に会し、家庭、学校及び地域社会の教育力を高め、PTAの役割や活動の在り方について考え学び合う場です。

本年度の研修では、時代や価値観の変化に応じた子どもの健全育成と、持続可能なPTA活動に重点をおき、実践発表や講演を行います。

- 主 催 京都府教育委員会 京都府PTA協議会
- 日 時 令和4年7月14日（木）午後1時00分～午後3時30分
- 場 所 国立京都国際会館
- スローガン 「未来につなぐ PTA」 ～変わりゆく社会の中で 今できること～
- 内 容

開会行事

<13:00～13:30>

開会挨拶 京都府教育委員会 京都府PTA協議会
来賓祝辞 京都府知事 京都府議会議長

実践発表

<13:30～13:50>

「変化する組織に人は魅力を感じる」

～今の時代、子どものためだけのPTAではもったいない～

発表者 八幡市立橋本小学校PTA 清水 省三

講 演

<14:05～15:25>

テーマ 「多様性を重んじる教育には何が必要なのか」

講 師 京都精華大学前学長 全学研究機構長 ウスビ・サコ

《講師プロフィール》

1966年マリ共和国出身。京都市在住。1992年京都府名誉友好大使第1期として任命される。2002年に日本国籍取得。

高校卒業後、中華人民共和国で建築デザインを学ぶ。1991年来日。京都大学大学院建築学専攻博士課程修了。2001年に京都精華大学人文学部講師、2013年人文学部教授・人文学部長に就任。専攻は空間人類学。国や地域によって異なる環境やコミュニティと空間のリアルな関係を研究。暮らしの身近な視点から、多様な価値観を認め合う社会の在り方を提唱。2018年に同大学学長就任。アフリカ系初の日本の大学長となる。2022年3月同学長を任期満了で退任。同年4月、全学研究機構長兼情報館長兼人間環境デザインプログラム教員に就任。

